

---

【1】第18回高校生理学研究発表会のご案内

【2】2024年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会のご案内

【3】「リジェネロン国際学生科学技術フェア (Regeneron ISEF) 2024」の結果等について

---

【1】第18回高校生理学研究発表会のご案内

千葉大学では、全国の高校生を対象に、日頃から課題研究活動等で行っている自然科学分野の研究発表を公表する機会を設け、優れた発表を表彰して奨励すると共に、個々の研究内容にアドバイスを与えることで、広く自然科学教育の向上と充実を図ってまいりました。

今年で第18回を迎える高校生理学研究発表会は、終日の参加を可とし、対面によるポスター発表(感染症、熱中症対策としてパネル間隔を広めにとり、午前午後でポスターを張り替える形式で実施)とオンライン(LINC Biz)による発表資料の公開を併用(オンラインでの発表資料公開のみの参加はできません)して開催します。

研究成果の発表の場として、また、研究のアドバイスを受ける場として、多くの高校生が参加されることを期待しています。

#### ●対象

高校生(参加費無料)

#### ●日時

ポスター発表: 令和6年9月28日(土)

発表資料の公開(オンライン): 令和6年9月25日(水)~令和6年10月1日(火)

#### ●会場

千葉大学西千葉キャンパス「体育館」(千葉市稲毛区弥生町1-33)

#### ●応募期間・応募件数

令和6年8月27日(火)~令和6年9月2日(月)正午(厳守)

募集期間内であっても、申込みが400件に達した時点で募集を終了します。

※申込みは必ず高校(申込責任者)を通して行うこと。なお、オンラインでの発表資料公開のみの参加申込みはできません。

※申込み後に発表番号付け、審査委員の割り振り等を行います。発表会当日の安易な欠席(不参加)の無いように、申込時に十分な確認をお願いいたします。

#### ●研究発表の分野

応募できる分野は次の自然科学系の研究の8分野です。日本語による発表のほかに、英語による発表も募集します。

- (1) 物理Ⅰ(物理学一般、宇宙物理など)
- (2) 物理Ⅱ(機械工学、電気工学、土木建築工学、ロボット工学、航空工学など)
- (3) 化学Ⅰ(物理化学、無機化学、分析化学など)
- (4) 化学Ⅱ(有機化学、生化学、環境化学など)
- (5) 生物Ⅰ(動物科学、栄養・病理・生理学、心理学など)
- (6) 生物Ⅱ(植物科学、園芸学、微生物学など)

(7) 地学（地質学，気象学など）

(8) 数学・情報

### ●開催方法

#### ポスター発表

(1) 発表者は9月28日（土），千葉大学にて持参したポスターを使用して研究発表を行う。

なお，ポスターを貼付するパネルのサイズは横900mm×縦1800mmである。

(2) 発表者，見学者は終日の参加を可とするが，感染症，熱中症対策として，パネル間隔を広めにとるため，午前午後でポスターの張り替えを行う。

時程は以下の通りである。

受付（高校ごとにまとめて） 8:30～12:30

なお，Aグループの発表者のいる高校は9:20までに受付をお願いいたします。

Aグループ： 発表1 9:30～10:30 ， 発表2 10:40～11:40

Bグループ： 発表1 12:40～13:40 ， 発表2 13:50～14:50

審査結果の動画公開 18:30～

(3) 状況により，発表会参加者の人数制限（午前午後の入替え制等）を設ける場合がある。その判断は9月上旬までに行い，申込責任者に連絡する。

(4) 優れた発表は表彰し，千葉大学高大連携支援室のWEBサイトで公開する。

(5) オンラインシステムにて，審査委員から発表者へ講評等のコメント投稿を行う。

#### 発表資料の公開（オンラインシステムによる並行実施）

(1) 申込書に記載された発表代表者のメールアドレス宛に，招待メールが送信される。

(2) 発表代表者は招待メールに記載されている「登録用URL」からアカウントを登録する。

(3) 発表代表者は，ポスター発表資料（可能なファイル形式はJPEG/PNG, PDF, MP4, MP4audio）を作成して，各々の発表チャンネルに9月22日（日）正午までに投稿する。オンラインでの発表資料は対面での発表を見学できない参加者，審査委員等のための閲覧資料とする。

なお，公開用資料作成には「発表資料（公開用）作成マニュアル」を参照すること。

使用するオンラインシステムはLINC Biz ポスターセッションプラン [(株)AIoTクラウド]である。

### ●主催

千葉大学

### ●共催

千葉県教育委員会

### ●後援

文部科学省，千葉市，千葉市教育委員会，千葉県高等学校長協会，千葉県高等学校教育研究会理科部会，千葉県高等学校文化連盟，国立研究開発法人科学技術振興機構，日本理化学協会，株式会社JTB，アドビ株式会社

### ●協賛

公益財団法人双葉電子記念財団，ヨウ素学会，DIC株式会社総合研究所，千葉県高等学校PTA連合会，千葉大学生活協同組合

第18回高校生理科研究発表会の「募集要項」，「応募マニュアル」，「申込書」，「発表資料（公開用）の作成について」を下記URLに掲載しています。

<http://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/requirements.html>

## 【2】2024年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会のご案内

2024年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会を下記の要領で開催いたします。皆様方におかれましては、ふるってご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

日時：2024年7月10日(水) 17:00-18:30

場所：千葉大学西千葉キャンパス 工学部5号棟2階204講義室 (下記URL参照)

<https://maps.app.goo.gl/1H4Nq5zeLvUz5Gvx7>

プログラム：

1. 17:00-17:40 河合 繁子 (千葉大学助教)

「細胞内におけるタンパク質凝集の生命に対する意義と利用の可能性」

2. 17:45-18:25 佐藤 智司 (千葉大学教授)

「バイオマス誘導可能なグリコール類の接触脱水反応」

参加申込：2024年7月8日(月)までに以下の google フォームから申し込みください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdLft\\_G-G2g5FVf5DKiBPb6tzEcgSEQvXwEqVJud-Ni7eMCdg/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdLft_G-G2g5FVf5DKiBPb6tzEcgSEQvXwEqVJud-Ni7eMCdg/viewform?usp=sf_link)

問い合わせ先：日本化学会関東支部幹事 三野 孝 (千葉大学)

E-mail：tmino@faculty.chiba-u.jp

## 【3】「リジェネロン国際学生科学技術フェア (Regeneron ISEF) 2024」の結果等について

国際学生科学技術フェア (ISEF=International Science and Engineering Fair) は、世界各国から参加した高校生等が、個人またはチームで研究成果を競い合う権威ある国際的科学技術コンテストです。アメリカで毎年開催されていて、本年は5月11日～5月17日、カリフォルニア州ロサンゼルスで開催されました。67の国と地域から参加した1,699名のファイナリストたちは、自分たちの研究をポスター形式で発表しました。日本からは15研究22名の生徒が参加し、部門優秀賞1等1研究1名、部門優秀賞4等2研究4名、特別賞3研究3名(うち1名は優秀賞1等受賞者)という結果でした。

詳細は下記のURLをご覧ください

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2024/1416581\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2024/1416581_00002.htm)

## 【編集後記】

暑くなってきて、パジャマ兼室内着として作務衣を利用している。麻でできているため風通しが良く、非常に過ごしやすい。ちょっと玄関先に出て人と会っても、夏用の洋風パジャマと違っておかしくない。作務衣は和装なので歴史があるかと思いきや、そうでもないらしく、私の方が年長らしい。今年も暑い夏になりそうであるが、麻の作務衣で涼しく乗り越えたいものである。(橋)